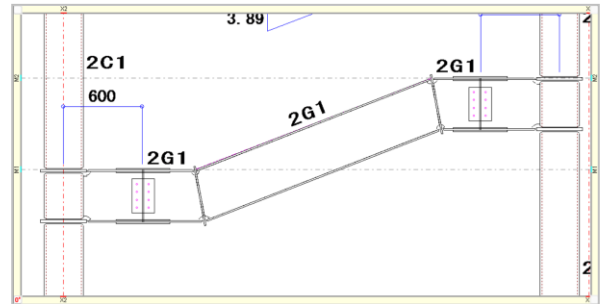


階をまたぐ梁の入力をしたい! ①

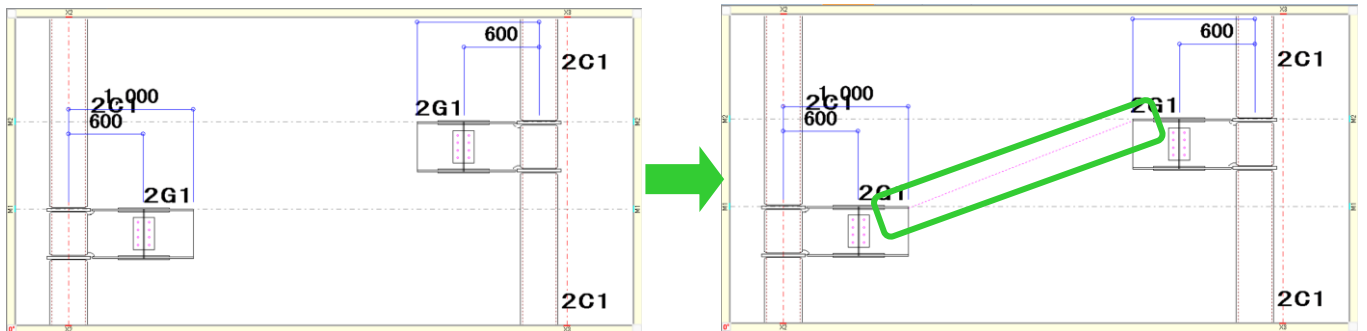
軸組図から補助線を使用して入力します。

例) 右図のように異なる階に入力された梁に接続する
斜めの梁を入力し、合掌プレートで取り合う方法



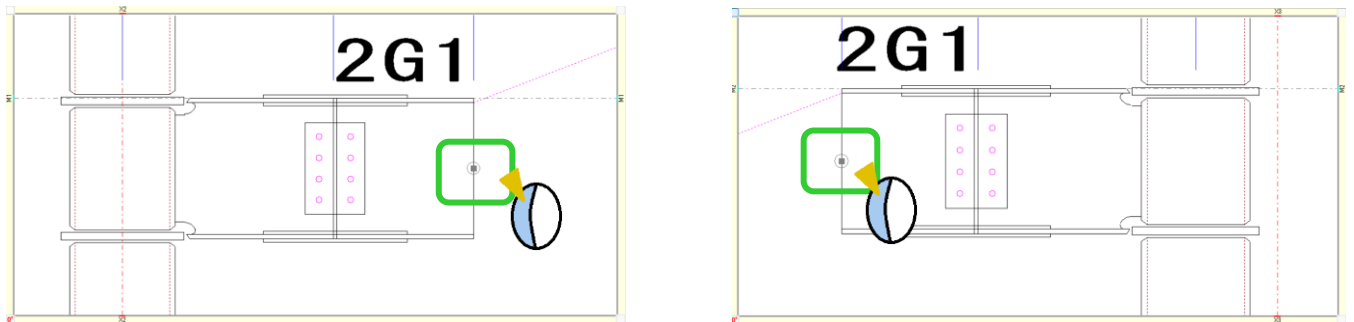
異なる階にそれぞれ梁を入力します。

斜め梁を配置したい位置に補助線を引きます。今回は斜め梁の上端に補助線を引きます。



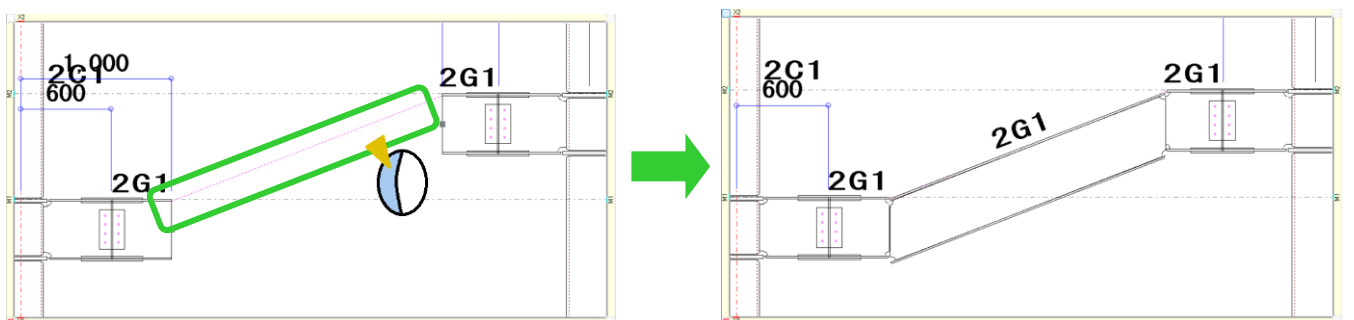
【梁】 - 【入力】 をクリックします。[部材 1 指定/本柱一括選択]で、梁の端部の●をクリックします。

[部材 2 指定]で、反対側の梁の端部の●をクリックします。



梁端部に接続したい場合、部材選択時に梁ではなく梁端部の●をクリックします。

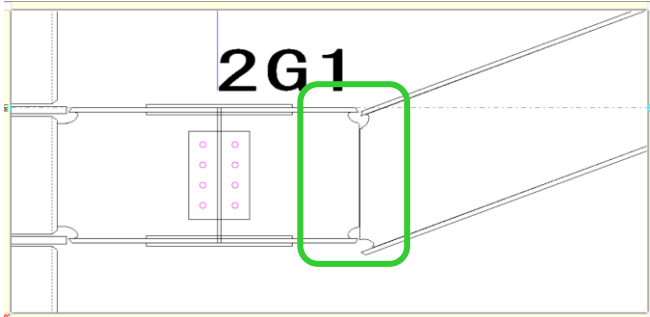
[基準指定]で斜めに引いた補助線をクリックし確定すると、斜めの梁が配置されます。



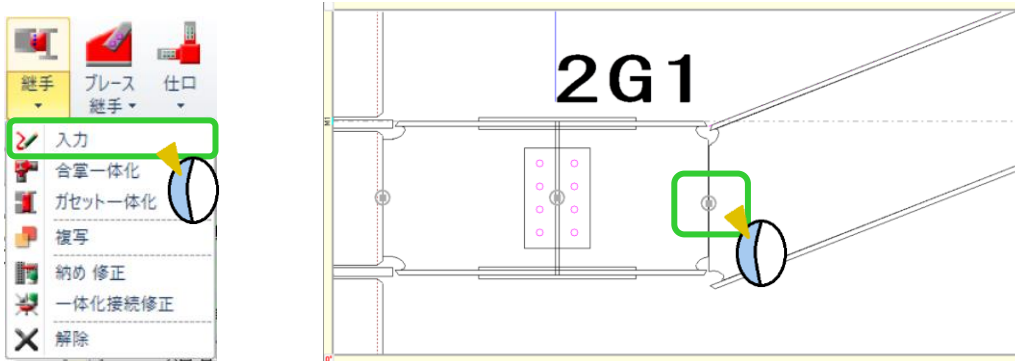
階をまたぐ梁の入力をしたい! ②

軸組図から補助線を使用して入力します。

異なる階に入力された梁と斜め梁の切断面に合掌プレートを設置し、切断面が合うように端部角度を調整します。



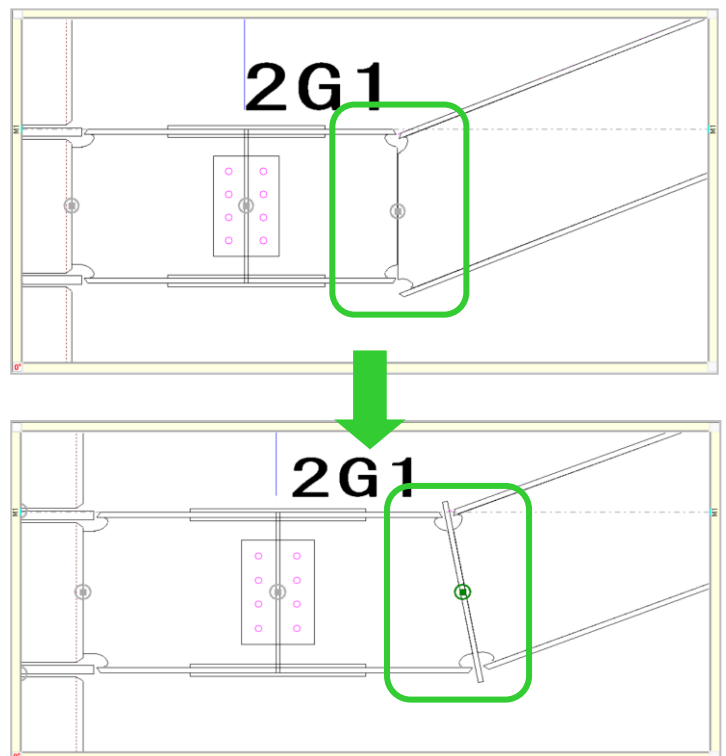
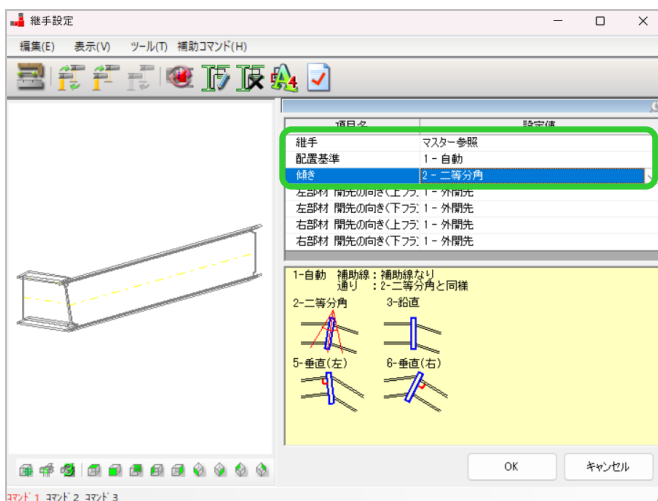
【継手】 - 【入力】 をクリックし、片方の梁と斜め梁間にある端部の●をクリックします。



継手設定画面が起動します。【継手】には、継手マスターで登録した合掌プレートを選択します。

【傾き】 - 【2-二等分角】 を選択し、OKをクリックすると梁断面の角度が調整されます。

同様に、もう片方の梁の切断面の【継手】と【傾き】を変更します。



❓ 階をまたぐ梁の入力をしたい! ③

軸組図から補助線を使用して入力します。

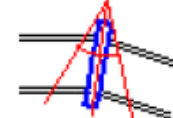


【継手】 - 【入力】で梁端部●をクリックした際に表示される【傾き】はスプライスの場合は無視されます。

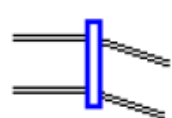
【1-自動】は補助線を使用して1接続にした場合、傾きは補助線なりになります。

通りを使用して1接続にした場合、傾きは【2-二等分角】と同様になります。

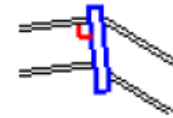
2-二等分角



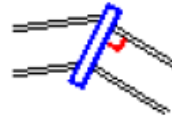
3-鉛直



5-垂直(左)

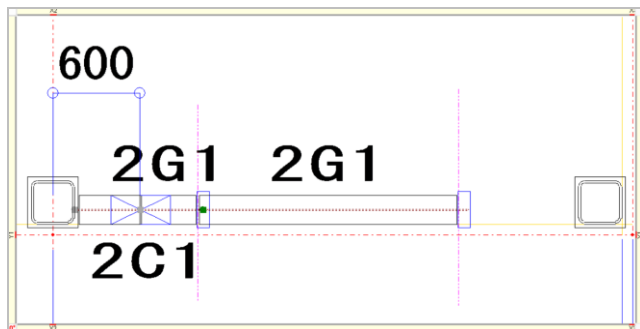


6-垂直(右)

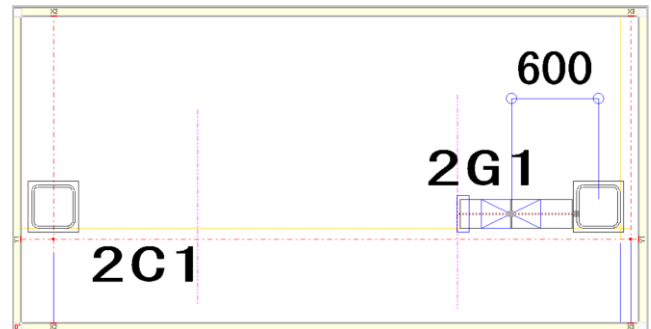


階またぎの梁は上下どちらかの階に作図されます。

<M1 階 平面図>

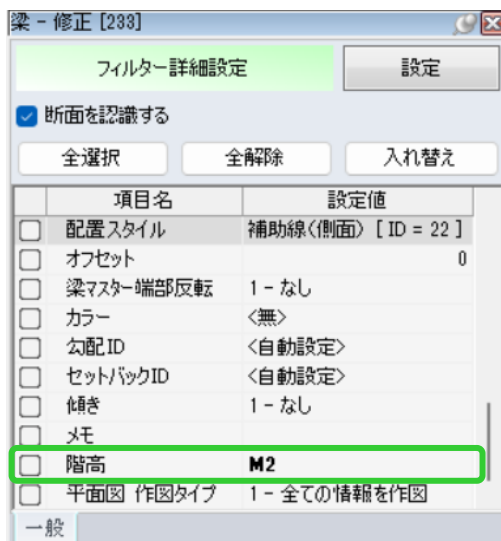


<M2 階 平面図>

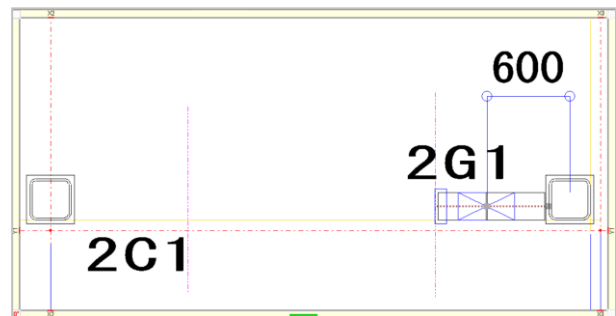


階をまたいだ梁は上下どちらかの階に作図されますが、平面図での作図階を変更したい場合は、

【梁】 - 【修正】で作図階の指定ができます。



<修正前>



<修正後>

